

# LinkCube 文字あふれ処理

## あふれ処理や行長・行数指定ができる

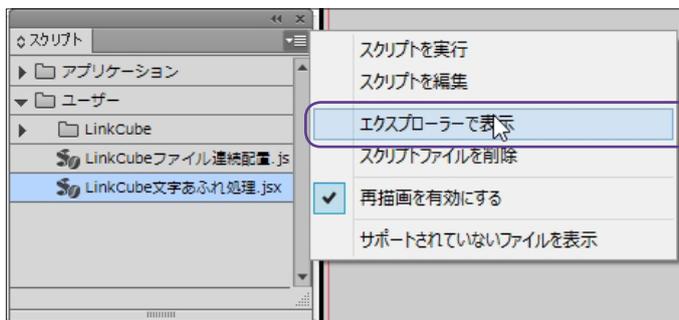
あふれた文字や、指定したスタイルが適用されている文字を水平比率・垂直比率、フォントサイズ、行送り  
で調整するプログラムです。

段落・文字スタイルを指定して各スタイル毎の処理設定や、あふれたテキストフレームの一括処理もできます。  
スタイルを指定した場合には、テキストフレーム内に文字が入るまで処理、または指定した行長や指定した  
行数にすることができます。テキストフレーム内で均等にあふれ処理をすることもできます。

LinkCube ファイル連続変換の処理追加用の json ファイルの作成ができます。<sup>\*1</sup>

## インストール方法

1. ダウンロードしたファイルを適当なフォルダに解凍します。
2. InDesign のスクリプトパネルを開き、アプリケーションまたはユーザーフォルダを選択します。
3. (Win) 右クリックして、[エクスプローラで表示] をクリックします。
4. (Mac) control キー+クリックして、[Finder で表示] をクリックします。
5. Scripts Panel フォルダの中に解凍後の  
LinkCube 文字あふれ処理 .jsx と、LinkCube フォルダをコピーします。



## アンインストール方法

1. InDesign のスクリプトパネルを開き、LinkCube 文字あふれ処理 .jsx を選択します。
2. (Win) 右クリック・(Mac) control キー+クリックして、[スクリプトファイルを削除] をクリックします。
3. LinkCube フォルダ内の \_textOverflow.jsx ・ m\_textOverflow.jsx、段落・文字スタイル一覧 .swf、文  
字あふれ処理設定 .swf、LinkCube 文字あふれ処理 .swf も削除します。

## 実行方法

あふれ処理をするドキュメントを開きます。

スクリプトパネルを開き、[LinkCube 文字あふれ処理 .jsx] をダブルクリックします。

1 version 1.1 から対応



### あふれ文字すべて処理の場合 は編集のみ

**Tips**  
[あふれ文字すべて処理する] にチェックの場合は、[編集] ボタンのみ有効になります。



### スタイルは複数選択可能

**Tips**  
スタイル選択時、  
(Win) Ctrl キー/  
(Mac) command キー+クリック、  
Shift キー+クリック  
などで複数選択できます。

文字があふれているすべてのテキストフレームを処理する場合は、 [あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れます。

スタイル毎に、あふれ設定や行長指定、行数指定をする場合は、[あふれ文字すべて処理する] にチェックを入れず、[参照追加] または [追加] で、処理したいスタイルを指定します。

[参照追加] をクリックすると、[段落・文字スタイル一覧] のダイアログが表示され、ドキュメントのスタイルが参照できます。

[追加] をクリックすると、[あふれ処理設定] のダイアログが表示されます。

## 段落・文字スタイル一覧

設定するスタイルを選択し、[OK] をクリックします。

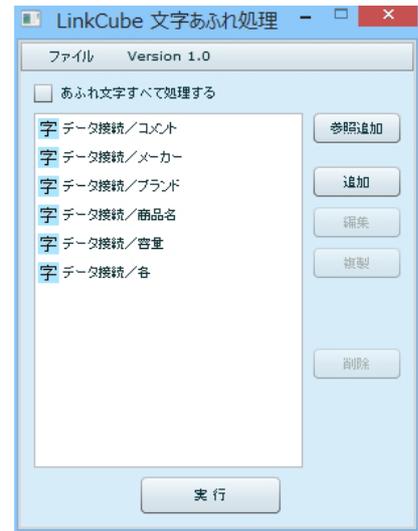
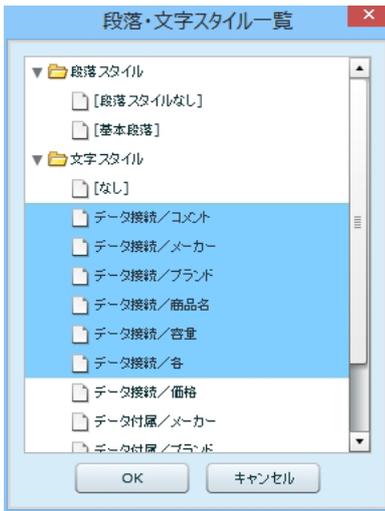
選択したスタイルが表示されます。

### スタイル名について

**Tips**  
入力する場合、スタイルグループに入っているスタイルは / で区切り、入力します。

例えば、データ接続グループ内の商品名というスタイルの場合、  
データ接続 / 商品名 となります。

同じスタイル名は追加できません。



## あふれ処理設定

あふれ処理をするスタイルを選択し「編集」をクリック、またはスタイルをダブルクリックすると「あふれ処理設定」を表示します。

スタイルを「追加」された場合は、スタイル名が空のなので、スタイル名を入力するか、「参照」をクリックし、ドキュメントのスタイルを参照してください。



「あふれ文字すべて処理する」の場合は処理方法のみ指定できます。



## フレーム内で均一にあふれ処理する

[フレーム内で均一にあふれ処理する] にチェックが入った場合は [文字が入るまで処理をする] のみ選択できます。行長指定または行数指定する場合は、[フレーム内で均一にあふれ処理する] のチェックを外してください。

処理前

●フルHDの約4倍の解像度で高精細  
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計  
※目に与える影響が懸念されているブルーライ

処理後

フレーム内均一あふれ処理をする

●フルHDの約4倍の解像度で高精細  
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計  
※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

フレーム内均一あふれ処理をしない

●フルHDの約4倍の解像度で高精細  
●バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計  
※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

上3行と下2行を均一にあふれ処理をしました。

上2行だけあふれ処理をしました。

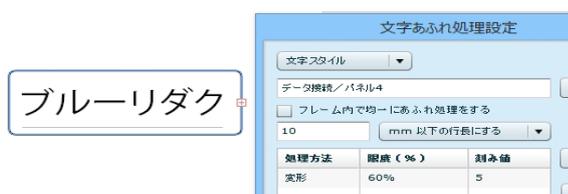
## 行長指定・行数指定

行長指定の場合は、[mm以下の行長にする] を選択し、数値(mm)を入力してください。

行数指定の場合は、[行以下にする] を選択し、数値(整数)を入力してください。

制限事項：行長指定と行数指定は全ての文字がフレーム内に表示されていなければなりません。

このように文字の一部のみ表示している場合には、処理できません。



## 文字あふれ処理方法

3通りの処理方法があります。

横組は水平比率・縦組は垂直比率、フォントサイズ、複数行時の行送りの変更です。

比率の変更の単位は%です。フォントサイズの単位はQ・ptを指定してください。単位がない場合はQになります。

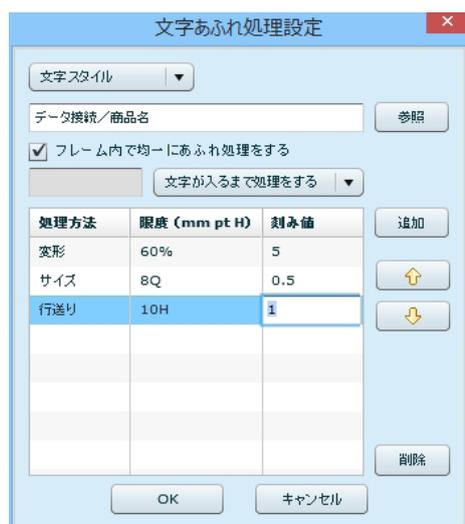
行送りの単位はmm・H・ptを指定してください。単位がない場合はmmになります。

きざみ値に単位の入力はありません。

処理方法を追加する場合は、[追加] ボタンをクリックしてください。

削除する場合は、削除する処理方法を選択し、[削除] をクリックしてください。

あふれ処理の優先順位は、上から順になります。優先順位を変更する場合は、処理方法を選択して、[↑] [↓] のボタンで移動してください。



## スタイルのあふれ処理 優先順位

並び替えたいスタイルを単一、または複数選択し、ドラッグ&ドロップしてください。

但し、同じフレーム内に「フレーム内で均一にあふれ処理をする」にチェックがあるものとないものが混在する場合、「均一にあふれ処理をする」のチェックがない方を先に処理します。

下記の例では、太字の文字が「均一にあふれ処理をする」にチェックがないため、先に処理しました。

処理前

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした

処理後

ブルーリダクション搭載、保護ガラスフィルター搭載モデル

- フルHDの約4倍の解像度で高精細
- バックライトのちらつきをなくした「フレッカーレス」設計

※目に与える影響が懸念されているブルーライトを、ディスプレイ本体で低減することができる

## スタイルのあふれ処理 複製

複製したいスタイルを選択し、複製をクリックします。

[元の名前のコピー]のスタイルが作成されます。

あふれ処理設定も複製されます。スタイル名を修正してください。

## ファイルメニュー 開く・保存・終了

[開く]: 文字あふれ処理の設定値ファイルを開きます。

[保存]: 文字あふれ処理の設定値をファイルに保存します。

設定値ファイルの拡張子は、jsonになります。

LinkCube ファイル連続変換の処理追加で使用できます。

[終了]: LinkCube 文字あふれ処理プログラムを終了します。

## 対応 OS・対応 InDesign

### 対応 OS:

Windows・Mac OS X

### 対応 InDesign:

InDesignCS4～InDesignCC2015

## 更新情報

### バージョン: 1.1

2015年7月30日更新

## ソフトウェアに関するお問い合わせ先

### 合同会社リンクキューブ

mail : [info@link-cube.net](mailto:info@link-cube.net)